



NPO法人こどもとむしの会

令和元年度（2019年度）事業報告書

A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

A-1 いどうこんちゅうかん

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとにも、「いどうこんちゅうかん」というビックリ箱をおして「ほんものたいけん」を届けます。

令和1年度は20ヶ所で開催しました。(1カ所は台風で中止) 参加者総数は2,140人。こどもとむしの会のスタッフはのべ115人でした。神戸市児童館派遣事業は平成23年度から9年目です。

A-2 昆虫大捜査線等

そのほか、公園等でみんなで虫とりを楽しむ「昆虫大捜査線」など、子どもたちが野外で昆虫に触れるプログラムをたくさん実施しました。



昆虫大捜査線 (洲本市五色県民健康村)
2019年5月4日。地元の家族づれを中心に、183名の参加があった。



JR姫新線イベント列車「むしむし号」
2019年6月15日に実施。大雨のため、復路は車内で5時間待機となった。



令和元年度 (2019年度) いどうこんちゅうかん等の内容

日時	会場	来場者数	スタッフ	備考
4月27日 (土)	播磨中央公園		八木・安岡・黒田・吉野	昆虫大捜査線
5月4日 (土)	洲本市五色県民健康村		八木・久保・清水・室崎・谷口・脇村・戸川	昆虫大捜査線
5月23日 (午前)	佐用町立三河保育園	20人 (園児17人・三河小1年生3人)	久保・近藤・斎藤・野村・茂見・池田・吉岡	佐用の「いどうこんちゅうかん」も3年目。三河保育園は今年度で廃園。2009年に初の「いどうこんちゅうかん」が行われた園だけにさびしい。三河小1年生の3人も参加したことで久保さんもたじたじの質問コーナーとなる。ユーモアたっぷりの久保さんの答えに笑いがいっぱいだった。

日時	会場	来場者数	スタッフ	備考
5月23日 (午後)	佐用マリア幼稚園	園児32人	久保・近藤・斎藤・野村・茂見・池田・吉岡	近藤さんの紙芝居「むしのおやこ」で子どもたちの興味も高まる。茂見さんのクワゴマダラヒトリの幼虫があちこち逃げるので子どもたちが追っかける。カヤは若い池田くん。子どもたちはおにいちゃんが好きだ。の参加でっていた。朝来産のウスバシロチョウで豪華なカヤだった。物おじしない子供たちの元気さが楽しい。
6月1日 (土)	さよう文化情報センター	約300人	別掲	昆虫館10周年記念むしむしまつり
6月13日	神戸大学附属小学校	140人(1年生70人・3年生70人)	池田・八田・久保・阪上・宇野	2年目の依頼は1年生と3年生(各2クラス)の2部制での依頼。1年生は「なるほどくいずぶくをつくろう」3年生は「昆虫の体のつくり」の単元のお手伝い。生き虫・カヤ・標本。どれも熱心に観察。3年生は宇野くんの「口のはなし」と池田くんの「変態の話」も聞いてもらう。久保さんの質問コーナーでは両学年ともたくさんの質問が出た。
6月15日 (土)	姫路駅発着-笹ヶ丘公園(佐用町)	80人	八木・久保・脇村・洞出	JR姫新線イベント列車「むしむし号」で行く虫とり大作戦。姫路発の姫新線「むしむし号」で佐用まで往復。車中でむしむしたいけんクイズなど。佐用駅からバスで笹ヶ丘へ。山中で採集など。
7月6日 (土)	佐用町昆虫館	50人	八木・安岡	貸切バスで行くホタル観察ツアーDay&Night
7月14日 (日)	あいな里山公園	約100人	八木・室崎・脇村・戸川	昆虫大捜査線
7月17日	洲本塩屋緑地公園	160人(49家族)	八木・高瀬・室崎・矢口・吉岡	洲本市教育委員会からの依頼による「セミナーエ」。公園に洲本市内の子どもたちが集まり、18時からセミの羽化を観察する。
8月1日	芦屋学童岩園すぎのこ学級	68人(1-5年生)	阪上・室崎・吉岡	初めての芦屋市内の学童保育で生き虫とぬりえの縮小版で開催。阪上くんの「むしの口のはなし」から始まる。狭いので2部屋で虫とぬりえを交代する。学童の小西先生も生き虫スタッフに。連日35℃を超える猛暑の中の開催だった。
8月3日 (土)-4日(日)	ハチ北高原	6家族	八木・清水・中谷	親子で行くハチ北高原ライトトラップ。ロッヂ野間に宿泊。虫好きのファミリーが集まる。
8月10日	しあわせの村(神戸市北区)	約250人	八田・久保・川崎・室崎・脇村・吉岡 Kids staff: 松岡想	8年目の開催。プール帰りの子どもたち、チラシを見て来たという家族、毎年来ていているという固定客(?)が来場。猛暑のせいかウマゼミが採れない。相変わらずの「カヤ」人気。同じ場所での継続の大切さを感じる。

日時	会場	来場者数	スタッフ	備考
8月10日 (土) -12日 (月祝)	三田市有馬富士 自然学習センタ ー	350人	池田・坂本ほか	むしむしたいけん
8月15日 (木)・ 16日 (金)	あいな里山公園	100人	八木・室崎・坂本・山 内ほか	むしむしたいけん
8月17日	宝塚大学	114人(子ど も66人・大 人48人)	八田・斎藤・前原・坂 本・吉岡	宝塚キャンパスで地域の子もたちのための 「ムシにふれてムシたいけん」2年目の開催。 今年もヘラクレスなど生き虫も購入していただ く。「かや」は人気。坂本くんの「むしむし小 話」、初参加の前原さんのタペストリー紹介に 八田さんの質問コーナーなど来場者も慣れてき たのかスムーズに進んだ。
8月17日 (土)	ミツカンよかわ ビオトープ	約50人	池田・阪上ほか	昆虫大捜査線
8月18日	長岡京市中央生 涯学習センター	140人	八木・金子・川崎・山 内・山内・室崎・坂本 Kids staff: 藤田・山内	駅前のバンビオ内にある施設で、初めての「い どうこんちゅうかん」開催。京都へも初進出で す。午前・午後の2部制。入場券が前売りだけ で完売した。来場者には余裕をもって楽しんで もらえた。
8月19日 (午前)	神戸市立 長楽児童館(長 田区)	49人(小1~ 6年生)	八田・室崎・坂本・脇 村・吉岡	8月19・21・22日の3日間は9年目になる神戸市 児童館派遣事業。今年も高倍率の抽選で当た った6館へ行く。初日の長楽児童館はみんな行儀 がよく、しっかりと「むしむし小話」を聞いて くれる。カマキリ先生効果かハンミョウに注目 が集まる。生き虫やカヤの虫たちをたのしくさ わってくれた。(神戸市児童館派遣事業)
8月19日 (午後)	神戸市立 雪御所児童館 (兵庫区)	39人	八田・室崎・坂本・脇 村・吉岡	子どもたちが採ってきたセミをカヤに放つ。生 き虫・カヤ虫をいっぱいさわってたのしそうだ った。(神戸市児童館派遣事業)
8月20日 (午後)	神戸市立 桃山台児童館 (垂水区)	102人 (小学生85 人・幼児9 人・大人8 人)	近藤・池田・室崎・坂 本・吉岡・	直接依頼による10年連続の開催。午前中に子ど もたちが採ってくれたセミをカヤに放す。下畑 台コーナーからも9人が参加。虫慣れした子ど もたちがおおいに楽しむ。
8月21日 (午前)	神戸市立 頌栄児童館(北 区)	50人 (小学生39 人・保育園 児11人)	阪上・坂本・室谷・山 下・浦野・吉岡	今年の「むしむし小話」は坂本くんの「むしの 体」 脚と翅がどこに付くかを答えさせる。学 生スタッフが少ないので阪上くんに神大生をス カウトしてもらってしのぐ。(神戸市児童館派 遣事業)

日時	会場	来場者数	スタッフ	備考
8月21日 (午後)	神戸市立 北五葉児童館 (北区)	28人	阪上・坂本・室谷・山 下・浦野・吉岡	午後も猛暑。室谷くん(大1)は初参加でタペ ストリー紹介をしてくれた。学生によりこだわ りの違いが紹介にも表れておもしろい。1階で 生き虫。2階でぬりえをした。カマキリを手か ら手へとみんなで散歩させて楽しそう。子ども たちにとっても夏一番の思い出になったと後日 聞く。(神戸市児童館派遣事業)
8月22日 (午前)	神戸市立 清風児童館(中 央区)	64人(小学 生15人・幼 児39人・大 人10人)	池田・坂本・室谷・福 井・脇村・吉岡	緑の多い大倉山公園に隣接している。生田保育 園からも参加。高学年が多かったので虫をしっ かりさわってくれた。(神戸市児童館派遣事 業)
8月22日 (午後)	神戸市立 旗塚児童館(中 央区)	67人	池田・坂本・室谷・福 井・脇村・吉岡	今日も猛暑。旗塚の子どもたちは元気!初参加 の福井くんがタペストリー紹介をしてくれる。 どのコーナーも押せ押せの熱気でこども圧の高 さを感じた。やはりイモリは人気。(神戸市児 童館派遣事業) 31年度の派遣事業参加者:6館で334人(小学 生237人・幼児50人・大人10人・児童館スタッ フ37人)
9月21~ 22日	国立淡路青少年 交流の家(南あ わじ市)	87人 (28家族)	久保・池田・奥井・溝 手・坂本・吉岡 Kids staff:松岡想	6年目の『AWAJIむしむしキャンプ』。 台風の接近により、翌朝解散の短縮キャンプと する。開始時より青空が顔を見せ、採集もはか どる。夜はナイターとおえかきを同時進行。眠 たい中、一生懸命描いてくれた。台風でキャン セルも出る中、繰り上げ参加者も来てくれて充 実した時間となったのか満足度がとても高かつ たそうだ。
9月22日 (日)	丹波並木道中央 公園	85名	八木・大塚・安岡・島 岡・山内	昆虫大捜査線
9月28日 (土)	赤穂海浜公園	150名	清水・吉水・島岡・山 内・江藤・脇村	昆虫大捜査線
10月10 日(午 前)	佐用町立 佐用保育園	54人 (3~6歳)	久保・近藤・野村・斎 藤・吉岡	佐用町「いどうこんちゅうかん」秋の部。途中 から3才児も入ってきて抵抗なくさわってい た。あつという間の2時間。楽しんでもらえた ようだ。
10月10日 (午後)	佐用町立 上月保育園	38人 (3~6歳)	久保・近藤・野村・斎 藤・吉岡	近藤さんの「むしのおやこ」の紙芝居に子ども たちは大歓声。小さな虫が安心なのか大人気。 野村先生のイモリコーナーも盛り上がる。久保 さんの質問コーナーにはたくさん手が上がる。 佐用の子どもたちの中で定着し始めた感触を得 る。

日時	会場	来場者数	スタッフ	備考
10月12日	ひょうご環境体験館 (佐用町)	申し込み11組 (大人17・小14・幼10)	中瀬・茂見・高橋・坂本・吉岡	台風のため中止
11月5日	神戸市立桃山台児童館 (垂水区)	33人 (1~5年生)	近藤・吉岡	「むしのおえかき」も7年目。子どもたちの集中した観察により今年もすばらしい180匹の虫の絵ができあがる。近藤さんが動きのある標本を用意してくださったので自然な表情の虫たちが描かれた。
11月9~10日	国立淡路青少年交流の家 (南あわじ市)	参加：290人/2日間 (フェア来場者：4691人)	久保・室崎・坂本・中谷・矢口・吉岡	こども☆ひかりの「ミュージアムキッズ!全国フェア」に参加。今年はおなじみの国立淡路青少年交流の家が会場。屋外の芝生広場にカヤを張り虫網を貸出し採った虫をカヤに入れてもらう。生き虫コーナーも虫好きやむしの会の常連の方が集まってくれ、たのしいものとなった。
12月14日	フェリーさんふらわあ号 (大阪南港発着)	350人 (乗船者:600人/うち幼・小230人)	八田・山内隆司・山内ちはる・島岡良治・島岡佳子・坂本・吉岡 Kids staff : 山内裕月・島岡優	大阪南港を出港して明石海峡大橋をくぐって戻るといふクリスマス・クルーズの中で初開催。生き虫・記念撮影・むしのおえかきの3本立て。多くの子どもたちが標本を見てむしの絵を描いてくれた。Kids staffの二人も大活躍。船を楽しみながらスタッフの仕事をこなしてくれた。



(上左) 2019年8月19日 いどうこんちゅうかん, 神戸市立長楽児童館
(上右) 2019年11月9日 ミュージアムキッズ!全国フェア, 国立淡路青少年交流の家

(左) 2019年12月14日 いどうこんちゅうかん, フェリーさんふらわあクリスマスクルーズ

B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

B-1 昆虫雑誌「きべりはむし」の編集発行

2019年度に発行した『きべりはむし』の概要

きべりはむし 第42巻 第1号 佐用町昆虫館開館10周年記念号

- ・2019年6月1日発行
- ・頁数85、特別原稿9編、一般報文6編、短報1編

きべりはむし 第42巻 第2号

- ・2019年12月25日発行
- ・頁67、報文12編、短報14編
(中峰)



B-2 同好会誌のPDF化

すでに活動休止となっている兵庫県の昆虫同好会誌をPDF化し、こどもとむしの会のサイトに公開した。

てんとうむし（姫路昆虫同好会）、IRATSUME（但馬むしの会）、ひろおび（播磨蝶友会）の3誌に加え、あらたに、PARNASSIUS（淡路昆虫研究会）を公開した。

（池田）

C 昆虫館等の運営支援事業

C-1 佐用町昆虫館の管理運営

■入館者

昆虫館開館時の入館者数（記帳者数）は4,769人（開館75日）であった。これは、佐用町昆虫館開館以来最多の人数であった。開館日の平均入館者は、63.6人で、平成30年の67.5人の次に多かった（平成30年は、比較的用户者の少ない6月に工事休館となったため、日平均が多くなった）。

夏季（お盆）の臨時開館は4日間（8月13日（火）～16日（金））を設定したが、15日（木）は台風のため、開館しなかった。

なお、2020年4月は、新型コロナウイルス感染症対策のため、昆虫館は休館とした。

（むしの会の事業年度では4月は2019年度に含まれるが、本報告書では例年昆虫館（佐用町）の事業年度に合わせて報告しているため、ここでは詳細に立ち入らない。）

■地元の利用

8月9日、三河保育園の利用があり、貸切開館として対応した。



「むし納め」のようす（2019年10月27日）

■アウトリーチ活動

佐用町内の幼稚園・保育所を訪問し、昆虫に触れる体験を提供する「いどうこんちゅかん」を2日間、4園で実施した。（再掲：いどうこんちゅかんの項参照）

- 5月23日 三河保育園・佐用マリア幼稚園（写真）
- 10月10日 佐用保育園・上月保育園



7月21日に開催された「ひまわり祭」に、『ふるさとの虫とあそぼう』コーナーとして出展した。多数も来場者があったが、300人としてカウントした。

6月22日、7月27日、南光自然観察村キャンプ場にてナイター（灯火採集）を行い、キャンプ場利用者に対して、昆虫観察の機会を提供した。人数はカウントしていない。

■開館10周年記念事業

2009年4月の開館から、10年を迎えたため、これを記念し、以下の事業を実施した。

(1) 佐用町昆虫館開館10周年記念行事

佐用町昆虫館開館10周年記念「むしむしまつり」と題し、NPO法人こどもとむしの会・佐用町・佐用町教育委員会の3者共催により、6月1日、さよう文化情報センターで、開催した。

町内小学校、幼稚園・保育園に招待状を配布し、親子を中心に約300名の来場があった（写真）。

当日のスタッフはつぎのとおり：（正会員）東輝弥・足立隆昭・越智剛・金子留美子・久保弘幸・齋藤泰彦・末宗安之・内藤親彦・中峰空・野村智範・前原繁仁・茂見節子・八木剛・安岡拓郎・吉岡朋子、（サポーター）中谷朱里・中野彰人・室崎隆春・山内隆司（※）・吉野時貴、（Kidsスタッフ）松岡想・越智航希・山内裕月（※）（応援）吉野加津江・吉野姫那



(2) 佐用町立図書館展示事業

「佐用のこんちゅう大集合-こんちゅうかんの標本たち」と題し、昆虫標本や拡大写真の展示を、7月20日～9月1日、佐用町立図書館で行った。

(3) 雑誌「きべりはむし」10周年記念号発刊

10年間の活動報告等を収録した記念号を、6月1日に発行し、記念行事参加の来賓等へ配布した。A4判85ページ。

佐用町昆虫館 開館 10周年記念 主催：NPO法人こどもとむしの会・佐用町・佐用町教育委員会 協賛：佐用町立図書館

むしむしまつり 招待状

この招待状をもって、喜んでお待ちしております。虫を愛する方々の参加を歓迎いたします。この機会に、ぜひ、お越しください。

日時：6月1日(土) 13:00～16:00
会場：さよう文化情報センター

1 虫放天 13:00～13:30
受付 12:30～先着 50名程度
虫放天の予定です。
お申し込み不要
参加費無料

2 いどうこんちゅうかん 13:00～16:00
チラシ、トランプ、プラモデル、イモなど、いろんな生きものをあつらわす！

3 虫のばく 13:00～16:00
高橋孝久さんと自然の博物館から来てくださる。世界の昆虫展で、むしむしまつり。

4 むしのおはなし 14:00～15:00
むしのかんぽ (佐用町立図書館 読書・中継) むしむしまつり (むしの会、夜間部) むしむしまつり (大学生の友だち)

物に記入の上、受付に持参ください。子どもたちにむしむしまつりプレゼントするよ

はいくえん、ようちえん、学校のなまえ

いつしよに来た人の人数
こども 人 おとな 人

佐用町昆虫館に行ったことが ある ない

TEL: 089-3853-6463 E-mail: office@kouchukan.net (NPO法人こどもとむしの会)

※ 6月1日(土)は、佐用町立図書館、閉館しています。
開催時間：10～18時
受付時間：10～18時
※ 6月1日(土)は、10時～12時 虫放天開催
※ 6月1日(土)は、13時～15時 虫のばく開催
TEL: 07965-77-0103 (佐用町立図書館)
http://www.kouchukan.net/

※ この招待状は、佐用町の全図書館、協賛施設、小売店に配布しています。

佐用町昆虫館の利用者数等

月	開館利用			閉館時利用			アウトリーチ			総計		
	開館日数	記帳者数	スタッフ数	日数	人数	スタッフ数	件数	人数	スタッフ数	一般利用者	スタッフ数	合計
4	10	350	37							350	37	387
5	12	653	32				2	64	7	717	39	756
6	10	504	29	1	21	1	1	300	20	825	50	875
7	9	755	38				1	300	5	1055	43	1098
8	13	1533	53	3	70	6				1603	59	1662
9	11	596	38							596	38	634
10	10	378	33				2	92	5	470	38	508
11				1	10					10	0	10
12				1	10					10	0	10
計	75	4769	260	6	111	7	6	756	37	5636	304	5940

D 管理運営

会員・会議

- ・正会員44名、むしむしサポーター33名
- ・通常総会を、2019年（令和元年）6月1日（土）に、さよう文化情報センターで開催した。

ブログの移行

2019年3月にレンタルサーバーをWADAXからXserverへ移転した。それに伴い、サーバー内にWordPressを導入し、2019年12月の記事をもってExciteブログの更新を停止、WordPressへ移行した。

以上